



佐久市立望月小学校  
学校だより



令和6年(2024年)  
2月2日(金)

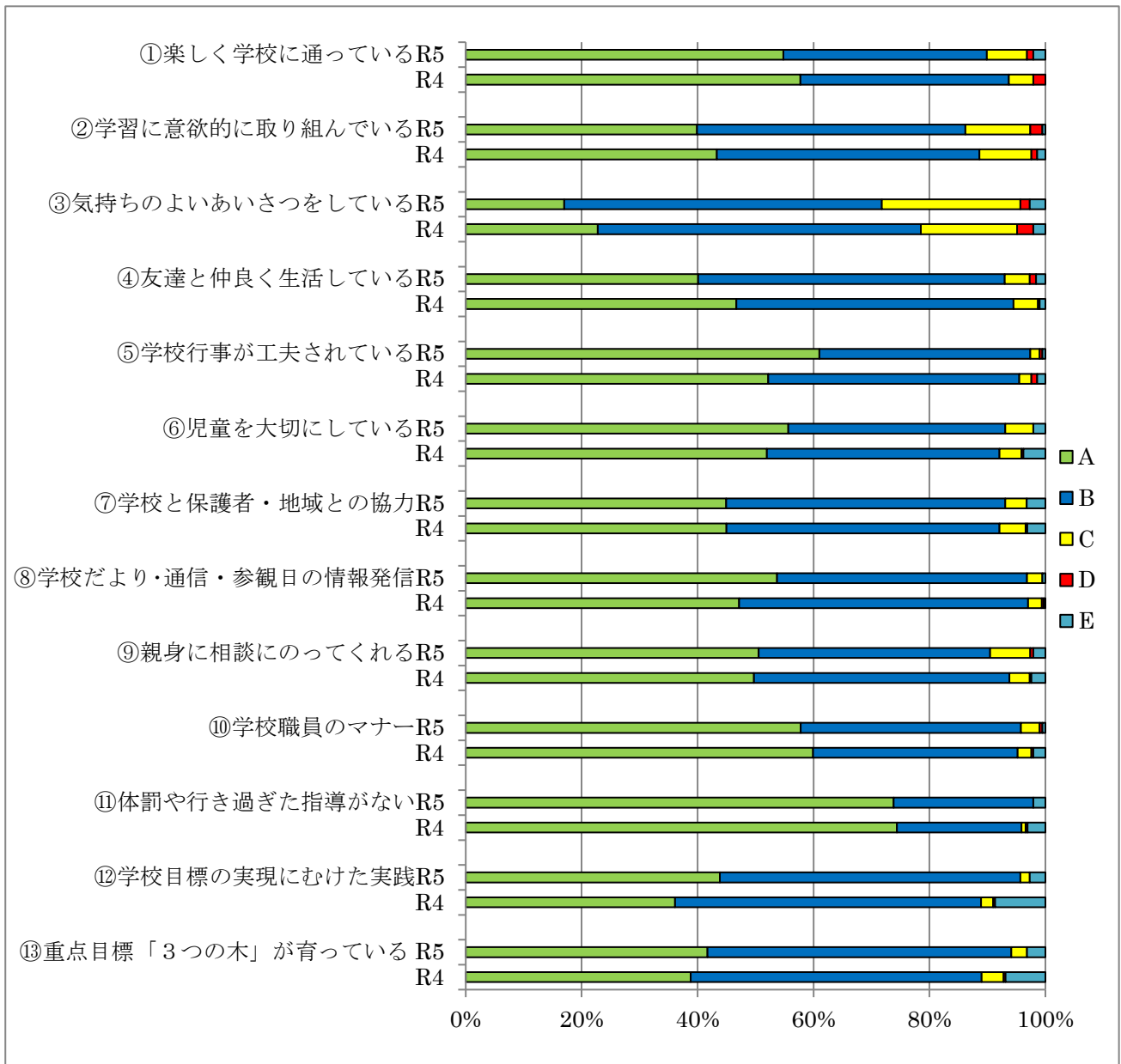
(担当：教頭)

## 保護者アンケート集計結果

保護者の皆様には、2学期に実施した学校評価アンケートへのご協力をいただきありがとうございました。結果のご報告いたします。この結果をもとに、今年度のこれまでの取り組みをふり返り、今後の学校運営の改善に努めてまいります。

A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまり思わない D： 思わない E：不明・無回答

【上段令和5年度 下段令和4年度】



## 1 今年度の成果と課題

- 「あいさつ」以外の評価項目で A・B の評価が80% を超えています。肯定的な評価が多いのですが、「あまり思わない」「思わない」を合わせた否定的な評価も見られることから、子ども全員が楽しく、意欲的に学習に取り組めるよう授業改善をさらに進めていきます。
- 「学校行事の工夫」「体罰・行き過ぎた指導がない」のよい評価が増え、運動会や音楽会、マラソン大会などの行事への取り組みを理解していただきました。また、児童に対する行き過ぎた指導があると感じる保護者はいませんでした。今後とも児童理解や非違行為防止研修を継続していきます。
- 学校目標の実現、「3つの木」については、校長講話や学校だよりなどを通して児童、保護者に理解していただけるよう努めてまいりました。さらに「学び合い、思いやり、汗をかくの3つの木」を育てることで、児童の育ちに繋げていきます。
- 「気持ちのよいあいさつ」については学校内、家庭内、地域などそれぞれの場所であいさつの仕方が変わってくるように思います。地域の方々では、登校中のあいさつを評価していただいているので、校内や家庭内へも広げていきたいと思えます。

## 2 自由記述欄のご意見について

学校に対する感謝の言葉をたくさんいただき、ありがとうございました。また、多くの貴重なご意見をいただきありがとうございました。いただいたご意見に対しては、職員間で共有し、もちっこ応援団推進委員会（学校評議員会）でご報告してご意見をいただきました。まちまちだった学級だよりの予定表を学校からの予定表にまとめたり、学年会で宿題の内容を検討したりするなどいただいたご意見に対してすでに対応しているものもあります。今後もお気づきの点がありましたら、随時学校までご連絡くださいますようお願いいたします。

## 3 来年度の取り組み

学習と生活の両面から保護者ととも1年間の中で振り返り、児童の育ちを共に考える機会を作りたい、と考えました。そのための具体的な取り組みとして、

- (1) 3学期制はそのままに、9月に保護者に学習の様子をお伝えする機会を持ちます。
- (2) 学習の様子をお伝えする機会を年2回にすることで、授業改善とともに児童としっかり向き合うための業務改善につなげます。
- (3) 通知表の形式や内容など学習の様子の伝え方については、現在検討中です。

### 変更を考えた理由

- 保護者の方と担任が児童の様子について共通理解するのが現状では12月の懇談会になります。ここで見返し、解決策を共有しても、残り3ヶ月では、改善が厳しいところです。懇談会を9月にすることで、話し合った内容に添って、残り半年かけて児童の学びの改善がじっくりと推進できます。
- これまで、夏・冬休み前に通知表を作成することで、成績をつけるためのテストが連続したり慌ただしい生活になったりしていました。学習の状況をお伝えする機会を年に2回、1回目を9月にすることで7、12月末にじっくり授業を進め児童と向きあった上で長期休みを迎えることが出来ます。

2月の学級懇談会で、来年度の通知表についてご意見を伺いたしたいと思います。